



HELP ENGLISH

Language Program, Inc.

留学に必要な物

【必需品】

パスポート

フィリピン入国の際、パスポートの有効期限が滞在予定期間に加えて6ヶ月以上残っている必要があります。

※4週間未満の滞在者は、パスポートの有効期限が【滞在日数+6ヶ月以上】あることを確認してください。

※4週間以上の滞在者は、パスポートの有効期限が【7ヶ月以上】あることを確認してください。

航空券

フィリピンへの入国の際には、空港カウンターで「30日以内にフィリピンを出国する航空券」の提示を求められます。

航空会社によってルールが異なりますが、提示ができない場合、搭乗拒否をされる可能性があります。

フィリピン入国の際には、必ず30日以内にフィリピンを出国する航空券をご準備ください。

(出国チケットに関して) ※以下のいずれかの方法でご準備ください。

- ・ 掛け捨ての安い航空券 (通称: 捨てチケット)
→ Cebu Pacific や Jetstar 等の LCC で、フィリピンから第3国へ出国する安価なチケットを購入する方法。
※実際に使用する必要はありません。(例: マニラーコタキナバル間、セブー香港間 等)
- ・ 出発日が変更可能な航空券
→ フィリピンから30日以内に出国する形で手配をし、フィリピン入国後に変更手数料を支払うことによって、
正規の出国日のフライトへ変更する方法。

パスポートの写し

機内で入国カードを記入する際、現地で診察を受ける場合、休日旅行でホテルにチェックインする際などがあると便利です。

身分証明書としても活用できるため、現地では携帯することをお勧めしています。クレジットカード利用時に提示を求められる場合もあります。

入学証明書の写し

フィリピン入国の際、稀に提示を求められる場合があります。渡航時は必ず携帯してください。

※語学留学の場合、ビザは「観光」です。こちらから自主的に提示すると、出国及び入国の手続きが複雑になる可能性があるため、

空港スタッフに提示を求められた場合にのみ、提示をお願いします。

証明写真

就学許可証 (SSP) 及びビザ延長申請時に必要です。2インチ (50x50mm) の写真を2枚以上ご用意ください。

現地のショッピングセンターでも作成可能ですが、可能な限り渡航前にご準備ください。

※背景は白のみ。顔の正面を撮り、サングラス、ヘアバンド、帽子などを身につけていないこと

現金 (日本円)

コース初日のオリエンテーション時に現地費用のお支払いをいただきます。お支払額は留学期間及びキャンパスによって異なります。

現地費用は現地通貨 (フィリピンペソ) でお支払いをいただきますが、入学初日のオリエンテーションの際に両替のタイミングがありますので、日本での両替は不要です。(現地レートの方が良いので、渡航前の両替は必要最低限に留めることをお勧めします)

ノートパソコン/タブレット端末/MP3プレイヤー/USB/スマートフォン

単語テストで録音を行う際必要になります。ノートPCはがあると便利なので、可能な限りご持参ください。

※TOEFLコースの方は、PCをご持参ください。

海外保険証

留学に対して保険をかけている場合、必ず保険証の原本とコピー1部をご持参ください。キャンパスでコピー可能(1枚5ペソ)
クレジットカードの付帯保険を利用される方は、クレジットカードをお持ちください。

※保険の適用範囲は、各自で事前に保険会社へご確認ください

文房具

フィリピンでも購入可能ですが、日本の品質と比べると劣ります。就学に必要な文房具は、日本から持参されることをお勧めします。
※ロンロン校のみ、各授業にてノート一冊が必要になります。授業数分のノートを事前に準備をお願いします。

(クラーク校ではパターン宿題用のノートも必要です。現地で購入可能)

衣服・タオル

最低限の衣服・タオルはご持参ください。現地購入も可能ですが、平日は外出禁止のため、買い物のチャンスは休日のみです。

※フィリピンで購入できるタオルは品質が悪く日本より高価です。多めに持参することを強くお勧めします。

【あると便利なもの】

辞書（電子辞書）

スマートフォン・タブレットでも代用可能です。

クレジットカード 又は 国際キャッシュカード

Cirrus か Plus マークの付いたカードであれば、たいていのショッピングセンターで ATM 利用ができます。国際キャッシュカード利用の際、1回の最大引き出し限度額は 10,000 ペソ（2.1 万円程度）、引き出し手数料は 200~300 ペソ（420~630 円）です。

常備薬

校内のクリニックでも薬は手に入りますが、日本で使い慣れている薬を持参することをお勧めします。

風邪薬、胃腸薬、下痢止め、頭痛薬、のど飴、目薬、うがい薬があると便利です。

マスク・バンドエイド

有事の際に便利です。

変圧器

フィリピンの電圧は 220V/60Hz です。耐圧がない日本の電化製品をそのまま使用すると壊れます。（PC、スマートフォンの場合は耐圧があるのでそのまま使用が可能）どうしても日本の電化製品を使用しなければいけない場合は、変圧器をご持参ください。現地でも購入することはできますが割高です。尚、コンセントの形は日本と同じです。変換プラグは不要です。

*現地購入の物でコンセントが韓国タイプのものもあります。

目覚まし時計

授業は早朝 7 時より始まります。スマートフォンのアラームで心配な方はご持参ください。

ハンガー

洋服だなや、ハンガー掛けがありますが、大概のお部屋でハンガーの用意がありません。

ヘアドライヤー

現地で安く購入が可能です。持ち込まれる場合は 220V の電圧対応の機種が必須です。ドライヤーは 300 ペソ（630 円）から購入可能なため、多くの学生は現地で現地製品を購入しています。

英語参考書

現地で日本語の参考書は手に入りません。使い慣れた教材があると便利です。日本人学生の多くは以下のいずれかを持ち込んでいます。

※共通して持ち込みが多い参考書

- ・ DUO3.0 (著: 鈴木 陽一)
- ・ 一億人の英文法 (著: 大西 泰斗)

※TOEIC コース取得者に多い参考書

- ・ TOEIC 公式問題集 (出版: ETS)
- ・ 1 駅 1 題 新 TOEIC TEST 文法特急 (著: 花田 徹也)
- ・ 新 TOEIC TEST 出る単特急 金のフレーズ (著: TEX 加藤)

洗面道具

歯磨き/歯ブラシ/石鹸/シャンプーなど ※現地でも購入可能ですが、持参することをおすすめします。

サンダル

校内・寮内であると便利です。 ※現地でも購入可

化粧品・生理用品

現地でも購入可能ですが割高です。持参することをお勧めします。

水着 ※クラーク校の場合

校内のプール、海に行く場合に必要です。

日焼け止め・虫刺され

レジャーを楽しみたい方はあると便利です。

ロッカーの鍵 (貴重品管理のため)

安いもので構いませんので、南京錠もしくはダイヤルタイプの鍵があると便利です。

コンタクトレンズ 及び ケア用品

ケア用品は現地購入可能ですが、可能な限り日本から持ち込むことをお勧めします。

※先浄液のボトルは、必ず預け入れ荷物に入れてください。(液体の手荷物は機内持ち込みできません)

羽織る服・長袖・長ズボン

バギオ地域(ロンロン校)は山の上です。年間の平均基本は東京と等しく、1日を通して冷え込みます。

クラーク地域(クラーク校)は南国の気候がゆえに、教室やショッピングセンター、バス等の冷房は強めに設定されています。

数枚羽織るものがあると便利です。

※ 他国籍と比較して、冷房が苦手な日本人は多くいます。同じ空間で生活をするため、ある程度の理解は必要です。

折り畳み傘

亜熱帯地域のため雨が降りやすいです。現地で安く購入可能。

【不要なもの】

ティッシュ・トイレットペーパー

現地で購入できます。移動用に少量だけご持参ください。公共トイレなどにはトイレットペーパーが設置されていないことがほとんどです。

日本食品

多少値段は日本で購入するより高くなりますが、日本のインスタントヌードルやチョコレートなどは現地で購入可能です。

大金・高価な品物

トラブルに繋がる可能性があります。特に、iPhone 関連の紛失トラブルは頻繁に起こります。

大切な衣服（特に色移りがし易いもの）

週3でランドリーサービスが学校に入ります。残念ながら、洗濯品質は日本のように高いものではありません。稀に紛失の可能性もあります。現地で嫌な思いをしないためにも、大切な衣服のサービス利用はお控えください。 ※シャツ等は、現地でお安くお買い求めいただけます。

留学に対する不安な気持ち

パスポートさえあれば何とか生活できるものです。お金はかかりますが、日本から荷物を送ることも可能です。（約2週で現地に届きます）皆さんの留学生生活をより充実したものにするために、現地スタッフがサポートを行います。お困りのことがあれば、遠慮なく現地スタッフにご相談ください。

【参考】現地価格の一覧 ※1ペソ=2.1円で計算（2018年7月現在）

外国人が行くようなカフェ	: 100~150 ペソ (210~315 円)	※ドリンク一杯当たり
外国人が行くようなレストラン	: 300~500 ペソ (630~1,050 円)	※一品当たり
マッサージ（1時間）	: 300~400 ペソ (630~840 円)	
映画	: 180 ペソ (380 円)	
ドライヤー	: 300 ペソ~500 ペソ (630~1,050 円)	
スマートフォン	: 3,000 ペソ~ (6,300 円~)	
フィリピン国内専用の携帯電話	: 500 ペソ~800 ペソ (1,050~1,680 円)	
ペットボトル飲料	: 20~40 ペソ (40~80 円)	
カップラーメン	: 40~60 ペソ (80~130 円)	
タバコ	: 50~70 ペソ (110~150 円)	
ビール	: 30~50 ペソ (60~110 円)	※350ml 缶当たり
ノート・ボールペン	: 10~30 ペソ (20~60 円)	
通話料・通信料	: 300~400 ペソ程度 (630~840 円)	※現地スタッフが1ヶ月に使用する平均

【補足】よりよい留学スタートをきるために

1. 留学初期の頃は「自己紹介」を頻繁に行います。渡航前に「自己紹介を紙にまとめ、練習をしておくこと」を強くお勧めします。また、自己紹介から想定される質問の返しについても、可能な限りで考えておくことと現地で良いスタートを切ることができます。
2. 授業でよく使う表現は事前に考えておくことをお勧めします。例. 「Could you speak more slowly?」「Could you explain it again?」「I want to know more about XXX」「May I have a question about XXX?」「Could you please write it down?」等
3. 言語学習ではお互いの文化を理解することが非常に重要です。フィリピンについて、授業で話したいトピックについて、事前によく調べておくことをお勧めします。相手のことを知りたい気持ちが、語学の理解を深めます。